新庄地区の歴史

【戦国以前】

年代	出来事
867(貞観 9)	新川神社に神階(従四位下)が授けられる。
876(貞観 18)	新川神社に神階(従四位上)が授けられる。
935(承平五)頃	『和名類聚抄』に志麻郷(現在の島村)が記されている
1467(応仁元)	応仁の乱

新庄城の歴史

【戦国~江戸時代】

年代	城主	出来事
1520(永正17)	長尾為景	越中守護代神保慶宗と対戦し神保氏が敗れる
	(上杉方)	(新庄の合戦)
		※新庄の名が史上にあらわれる最初 臨時の軍事拠点か
~1550(天文19)	三輪飛騨守	天文年間に三輪氏が築城し代々居住する。
	(神保方)	椎名方と争う。
1550(天文19)	轡田備後守	三輪飛騨守没落し、椎名方大村城主轡田備後守が新庄城城
	(椎名方)	主となる。その後井上肥後守に城を譲る。
1571(元亀 2)	井上肥後守	新庄城、上杉方に攻められ落城。井上肥後守敗走。
	(椎名方)	
1572(元亀 3)	鯵坂長実	新庄城に陣し、太田保内を攻めた井上肥後守を破る。
	(上杉方)	上杉謙信、新庄城に陣し、一向一揆勢の拠る富山城を攻め
		落城させる。(尻垂坂の合戦)
		飛騨の将江馬輝盛が来陣し、上杉謙信に面謁する。
1578(天正6)	(上杉方)	織田方の斉藤新五が越中に侵攻し、新庄村の地蔵堂坂口に
		至ったため、上杉方の兵が新庄城より出撃し戦う。
		(地蔵堂東坂口の合戦)
		その後上杉方の軍を破る (月岡野の戦い)
1580(天正8)	(上杉方)	織田方の神保長住、新庄城を攻め、金山城下に到着。
1581(天正9)		上杉方松倉城主河田豊前守と富山城主佐々成政が荒川の
		河原で戦う(荒川の合戦)。
1583(天正11)	土田将監	佐々成政の越中支配進む
	加藤大蔵	土肥政繁の将、柞屋平左衛門に襲われ落城。
	(佐々方)	
1587(天正 15)	(前田方)	佐々成政、肥後転封により新庄城は前田利家の所有とな
		る。
1615(元和元)		一国一城令により廃城となる。
		前田利常が城跡に御陣屋をつくる。

平成25年12月7日(土)

しんじょうじょうあと

新庄城跡発掘調査現地説明会資料

富山市教育委員会埋蔵文化財センター

1. 調査原因 富山市立新庄小学校体育館改築主体工事に先立つ発掘調査

2. 調査面積 1, 862. 2 m²

3. 調 查 地 富山市新庄町1丁目(新庄小学校敷地内)

4. **調査期間** 平成25年9月24日~平成25年12月下旬

5. 発掘調査の成果

新庄城跡での本格的な発掘調査は初めてです。

これまでに検出した遺構は平安時代~江戸時代のものがあります。

・平安時代(約1,100年前) 【集落跡】

遺構:井戸・溝・掘立柱建物

遺物:土師器・須恵器

・室町時代(約600年前) 【堀と土塁に囲まれた館跡】

遺構:堀・土塁・溝・掘立柱建物

遺物:かわらけ・珠洲・越前・瀬戸・青磁

・戦国時代(約 550 年前~450 年前)【城館跡】

遺構:堀・溝・掘立柱建物・大型竪穴土坑・鍛冶関連遺構

遺物:かわらけ・珠洲・木製品(漆器・箸・下駄など)・鉄滓・羽口・馬の骨

・戦国時代末期~江戸時代(約450年前~400年前) 【城館跡〔記録にある新庄城〕】

遺構:造成痕跡・堀・石組井戸・鍛冶関連遺構

遺物:かわらけ・珠洲・鉄滓・羽口・石塔婆・五輪塔・近世陶磁器

6. 発掘調査から分かること

- ・平安時代には集落があり、この頃から新庄地区に人々が暮らしていたことが分かりました。
- ・室町時代には館があり、当時有力者が居住していたと推測されます。
- ・この館は、応仁の乱(1467年)頃に城に作り変えられました。城はその後も改変を繰り返し、その後埋められて更に大きな城が造成されました。これが戦国史の記録に表れる「新 庄城」と考えられます。
- ・新庄城は、1520 (永正17)年から1583 (天正11)年まで戦国史の記録の中でたびたび表れ、その後廃城となりました。江戸時代には、跡地に加賀藩によって御陣屋が作られました。
- ・新庄小学校が建つ場所は、古くから「御屋敷山」と呼ばれた小高い丘でしたが、校舎の建築や拡張の際に平らに削られてしまいました。そのため、新庄城の曲輪などの大部分は削られてなくなってしまい、わずかに堀などの痕跡だけが残ったと考えられます。
- ・今回の調査では、記録に表れる新庄城の痕跡は堀の一部が残っていただけでした。 しかし、築城以前の歴史が明らかになりました。

